

請負事業体等との安全会議を開催

7月29日、菊池市中央公民館会議室において、新型コロナウイルス感染拡大で延期していた本年度の請負事業体等安全会議を事業実行中の事業体関係者と当署関係者の総勢38名が参加して開催しました。

会議は下大迫伸一総括森林整備官の司会進行により、冒頭、川畑充郎署長から、「昨年度から現在までゼロ災が継続中であり、引き続き熊本署管内からは災害を出さないよう、原点に立ち返ってより一層の安全対策を徹底して頂きたい」と挨拶するとともに、事業体に対して公共工事等の適正な入札・契約について説明を行いました。

続いて志賀栄一次長から、九州局内の請負事業体等の災害発生状況やダニ刺咬対策等の説明と、DVD（かかり木処理作業の安全）の視聴により、労働災害の未然防止に向けた対策等について学んで頂きました。また、菊池労働基準監督署の2名の担当官から、労働災害の発生状況、熱中症対策、働き方改革に関連した労働時間法制の見直し事項等について、細かく指導して頂きました。

最後に各社の代表者から、現在取り組んでいる安全対策についての発表と意見交換を行い、本年度のゼロ災と安全を祈念して安全唱和「ゼロ災でいこう。ヨシ！」で締めくくり、参加者全員で決意を新たに閉会しました。



安全会議の状況



挨拶する川畑署長